

ロシア語

科目責任者 竹内高明
学年・学期 1学年・通年

I. 前文

ロシア語は、ヨーロッパとアジアの境界をなす隣国ロシアの公用語として、同国内の多くの民族に使用されているばかりでなく、旧ソ連圏の広大な領域において現在も広く用いられている言語であり、東欧諸国の数々のスラヴ語への入口ともなり得る。豊かで多様なロシア語文学・ロシア語圏文化(音楽・舞踊・映画等)に親しむ手がかりを与え、また近年急速に発展しているロシア語圏諸国との交流にも欠かせない。一見煩雑に見えるロシア語の文法も、ひとたびロシア語文化とロシア人の奥深い魅力を知れば、挑戦の意欲をそそられるものとなるだろう。この講義ではその入門として、簡単な会話を楽しみ、辞書を引いて平易な文章を読める能力の獲得を目指す。各学期に2回、ゲストとしてネイティブ・スピーカーにも参加してもらう。

毎週の確認テスト・学期末試験の後には、教師によるチェックの結果を各人が確認、誤っていた点を復習する。

II. 担当教員

竹内高明 (基本医学)

III. 一般学習目標

ロシア語文法の基礎を学ぶとともに、ロシア語圏の文化に触れ、ロシア語を通じての情報入手やコミュニケーションの能力を培う。

IV. 学修の到達目標

1. ロシア語の正しい発音を習得する。
2. 基本的な語彙と文法を身につけ、簡単な挨拶や日常会話ができる。
3. 辞書を用い、自分でロシア語の平易な文章が読める。

V. 授業計画及び方法

回数	月	日	曜日	時限	講義テーマ	担当者
1	4	15	水	3	オリエンテーション	竹内高明
2		22	水	3	アルファベット (キリル文字) と発音 ①	竹内高明
3		30	木	4	アルファベット (キリル文字) と発音 ②	竹内高明
4	5	7	木	4	第1課「この人は誰?」: 肯定文と疑問文	竹内高明
5		13	水	3	第2課「あなたは医師ですか?」: 人称代名詞	竹内高明
6		14	木	4	第3課「郵便局はどこ?」: 動詞の変化 (現在形①), 名詞の性	竹内高明
7		20	水	3	第4課「これは誰の写真?」①: 名詞の複数形	竹内高明
8		21	木	3	第4課「これは誰の写真?」②: 所有代名詞と指示代名詞	竹内高明
9		27	水	3	ゲストとの会話練習①	竹内高明

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者
10	5	28	木	4	第5課「どこにお勤めですか」①：名詞の格変化	竹 内 高 明
11	6	3	水	3	第5課「どこにお勤めですか」②：前置格	竹 内 高 明
12		4	木	4	第6課「彼はロシア語を話す」①：動詞の変化（現在形②）	竹 内 高 明
13		10	水	3	第6課「彼はロシア語を話す」②：形容詞の性・数変化①	竹 内 高 明
14		11	木	4	第7課「どこに住んでるの」①：生格と所有の表現	竹 内 高 明
15		17	水	3	第7課「どこに住んでるの」②：形容詞の性・数変化②	竹 内 高 明
16		18	木	3	第8課「昨日はどこに行ってたの」①：動詞の過去形	竹 内 高 明
17		24	水	3	第8課「昨日はどこに行ってたの」②：与格	竹 内 高 明
18		25	木	4	ゲストとの会話練習②	竹 内 高 明
19	7	1	水	3	1学期のまとめ①	竹 内 高 明
20		2	木	4	1学期のまとめ②	竹 内 高 明
21	8	26	水	4	第9課「どこに行くところ?」①：移動の動詞①	竹 内 高 明
22		27	木	3	第9課「どこに行くところ?」②：対格	竹 内 高 明
23	9	2	水	5	第10課「何をする予定?」①：合成未来	竹 内 高 明
24		3	木	4	第10課「何をする予定?」②：曜日の表現	竹 内 高 明
25		9	水	5	第11課「読み終わりましたか?」①：不完了体と完了体①	竹 内 高 明
26		10	木	4	第11課「読み終わりましたか?」②：不完了体と完了体②	竹 内 高 明
27		16	水	5	ゲストとの会話練習③	竹 内 高 明
28		17	木	4	第12課「僕は忙しかった」①：形容詞短語尾形	竹 内 高 明
29		23	水	3	第12課「僕は忙しかった」②：1人称命令法、順序数詞	竹 内 高 明
30		30	水	5	第13課「スープは何がお勧めですか」①：2人称命令形	竹 内 高 明
31	10	1	木	4	第13課「スープは何がお勧めですか」②：造格の用法①	竹 内 高 明
32		7	水	5	第14課「気分はいかがですか」①：比較級	竹 内 高 明
33		8	木	3	第14課「気分はいかがですか」②：否定生格	竹 内 高 明
34		14	水	5	ゲストとの会話練習④	竹 内 高 明
35		21	水	4	2学期のまとめ	竹 内 高 明
36	11	4	水	3	第15課「いつお出かけですか」①：個数詞と名詞の結合	竹 内 高 明

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者
37	11	11	水	3	第15課「いつお出かけですか」②：時間の表現	竹 内 高 明
38		12	木	3	第16課「ちょっと伺いますが」①：命令形の会話での使用	竹 内 高 明
39		18	水	2	第16課「ちょっと伺いますが」②：無人称文	竹 内 高 明
40		19	木	3	第17課「この辞書はいくらですか」①：値段の表現	竹 内 高 明
41		25	水	3	第17課「この辞書はいくらですか」②：н р а в и т ь с я と х о т е т ь	竹 内 高 明
42		26	木	3	ゲストとの会話練習⑤	竹 内 高 明
43	12	2	水	3	第18課「彼の名前は?」①：造格の用法②	竹 内 高 明
44		3	木	3	第18課「彼の名前は?」②：年数と年齢の表現	竹 内 高 明
45		9	水	3	第19課「私は毎年ソチに行きます」①：移動の動詞②	竹 内 高 明
46		10	木	3	第19課「私は毎年ソチに行きます」②：月の表現, м о ч ь の用法	竹 内 高 明
47	1	6	水	3	第20課「もしチケットがあれば」①：関係代名詞 к о т о р ы й	竹 内 高 明
48		7	木	3	第20課「もしチケットがあれば」②：仮定法	竹 内 高 明
49		13	水	3	ゲストとの会話練習⑥	竹 内 高 明
50		20	水	3	3学期のまとめ	竹 内 高 明

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

成績の評価は、毎週行う確認テスト（30%）、学期末の筆記試験と口頭試験（併せて60%）を基に行う。予習・復習の状況、出席や授業中の態度も考慮する。

VII. 教科書等

『初級ロシア語20課』桑野隆著（白水社）を教科書として用い、各授業時に練習問題・画像資料・単語表などのプリントを配布する。機会に応じて視聴覚教材も使用。

VIII. 質問への対応

授業中に随時受け付ける。語学・人文教育部門室（本部棟3階、内線2200）でも別途対応可能。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	○
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	◎
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

- ①毎週行う確認テストを添削して返却、講評する。
- ②学期末の筆記試験を添削して返却。学期末の口頭試験と併せて講評する。

XI. 求められる事前学習、事後学習

シラバス別冊に記載。なお、シラバス別冊に記載が無い場合、要点を確認しておくこと。（所要時間の目安20分）

XII. コアカリ記号・番号

シラバス別冊に記載。なお、シラバス別冊に記載が無い場合、要点を確認しておくこと。（所要時間の目安20分）